

北海道開発局長記者会見資料
令和4年1月18日

百年に及ぶ千歳川の治水の 歴史における一つの節目 千歳川遊水地群完成

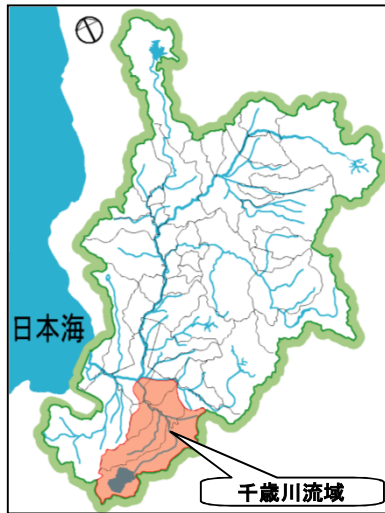


千歳川流域の治水の沿革

■放水路による治水対策から遊水地整備を併用した堤防強化による新たな治水対策へ

年	事 柄
明治～昭和30年代	明治43年に石狩川の本格的な治水工事が着手。大正11年（1922年）から開始した夕張川の切り替えが昭和11年に完成、昭和初期に千歳川中流部のショートカット等を実施
昭和40年	工事実施基本計画において、千歳川の治水計画は抜本的な治水対策を見出せず、引き続き調査・検討とし石狩川の背水の影響を受けた高い水位に対応した堤防の整備を実施
昭和50年	石狩川で大洪水が発生（千歳川流域 氾濫面積：8,100ha、浸水家屋 1,047戸）
昭和56年	石狩川水系既往最大の洪水が発生（千歳川流域 氾濫面積：19,200ha、浸水家屋：2,683戸）
昭和57年	石狩川水系工事実施基本計画において千歳川放水路計画決定
昭和63年	放水路事業着手（放水路計画については地元千歳流域自治体等からは推進、漁業団体や自然保護団体等からは慎重の立場からの意見があり、事業を進めることができない状態が継続）
平成9年～平成11年	北海道知事の設置による「千歳川流域治水対策検討委員会」での治水対策 検討
平成11年	北海道知事からの意見を受け、放水路事業を中止
平成11年～平成14年	国、道の共同設置による「千歳川流域治水対策全体計画検討委員会」での放水路計画に代わる新たな対策の検討。堤防強化（遊水地併用）案を選択すべきと委員会からの提言
平成16年	委員会からの提言をふまえ、石狩川水系河川整備基本方針において千歳川の治水対策を改定
平成16年～平成17年	石狩川流域委員会において、千歳川河川整備計画を検討
平成17年	千歳川河川整備計画策定 堤防強化、河道掘削、遊水地群の整備を開始
平成20年	千歳川遊水地群の工事に着手 （平成21年：舞鶴、平成22年：北島、平成23年：東の里・晩翠、平成24年：根志越・江別太）
平成26年	千歳川遊水地群のうち、舞鶴遊水地が完成
平成27年	千歳川河川整備計画変更 遊水地群の諸元を明記
令和 2年	千歳川遊水地群完成・供用開始

昭和56年8月の大洪水による被害

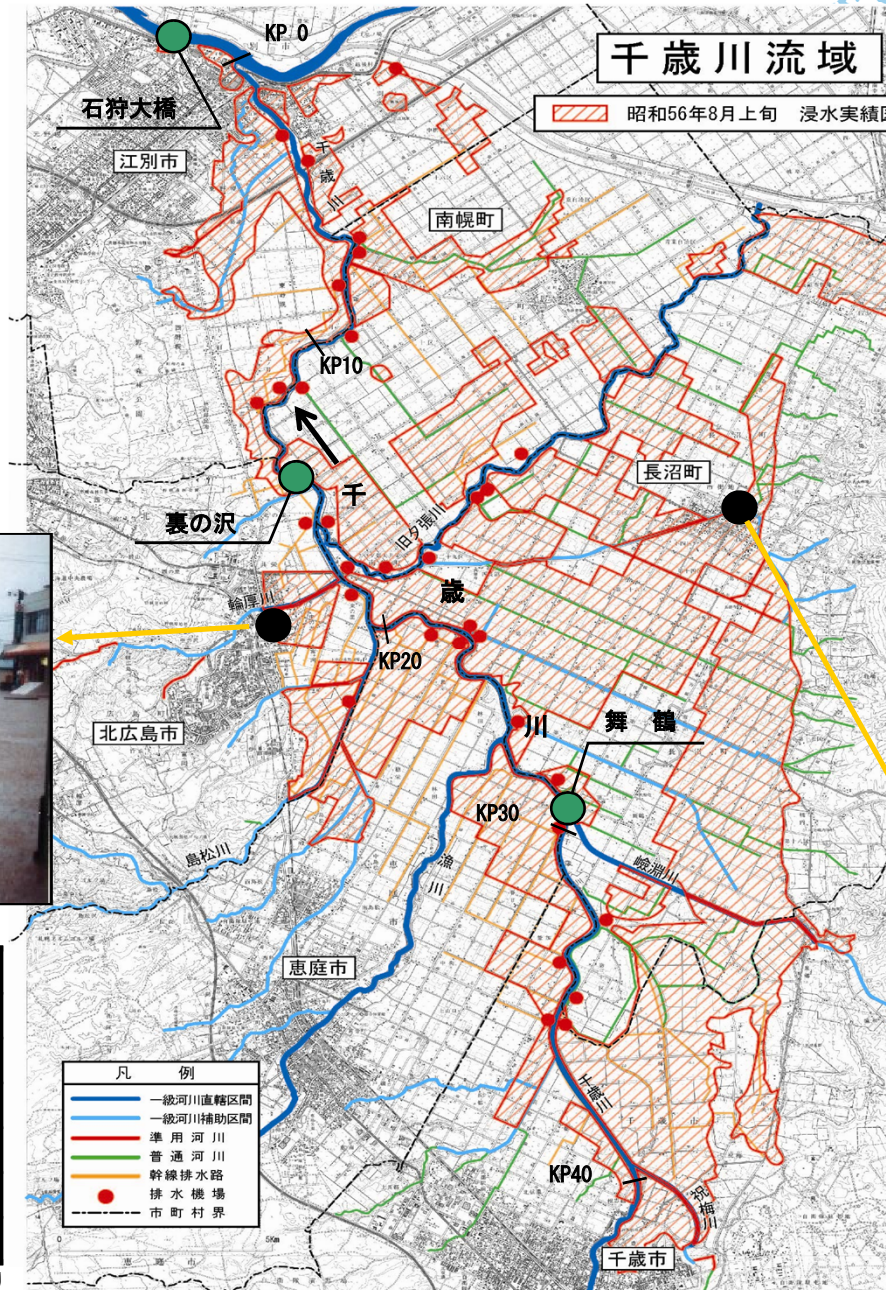


北広島市街浸水状況

◎一般被害(千歳川流域関係市町村)

市町村名	浸水戸数(戸)
江別市	1,025
南幌町	422
北広島市	269
長沼町	706
恵庭市	139
千歳市	122

※昭和56年災害記録より



千歳川の中下流部は広大な低平地が広がっており、洪水時に石狩川本川の高い水位の影響を長い区間にわたり長時間受けるなど、水害が起きやすい特性を有しており、ほぼ2年に1回という頻度で水害に見舞われていました。

特に昭和56年8月上旬洪水は、未曾有の大洪水となり、被害家屋2,683戸、浸水面積19,200haの甚大な被害が発生しました。

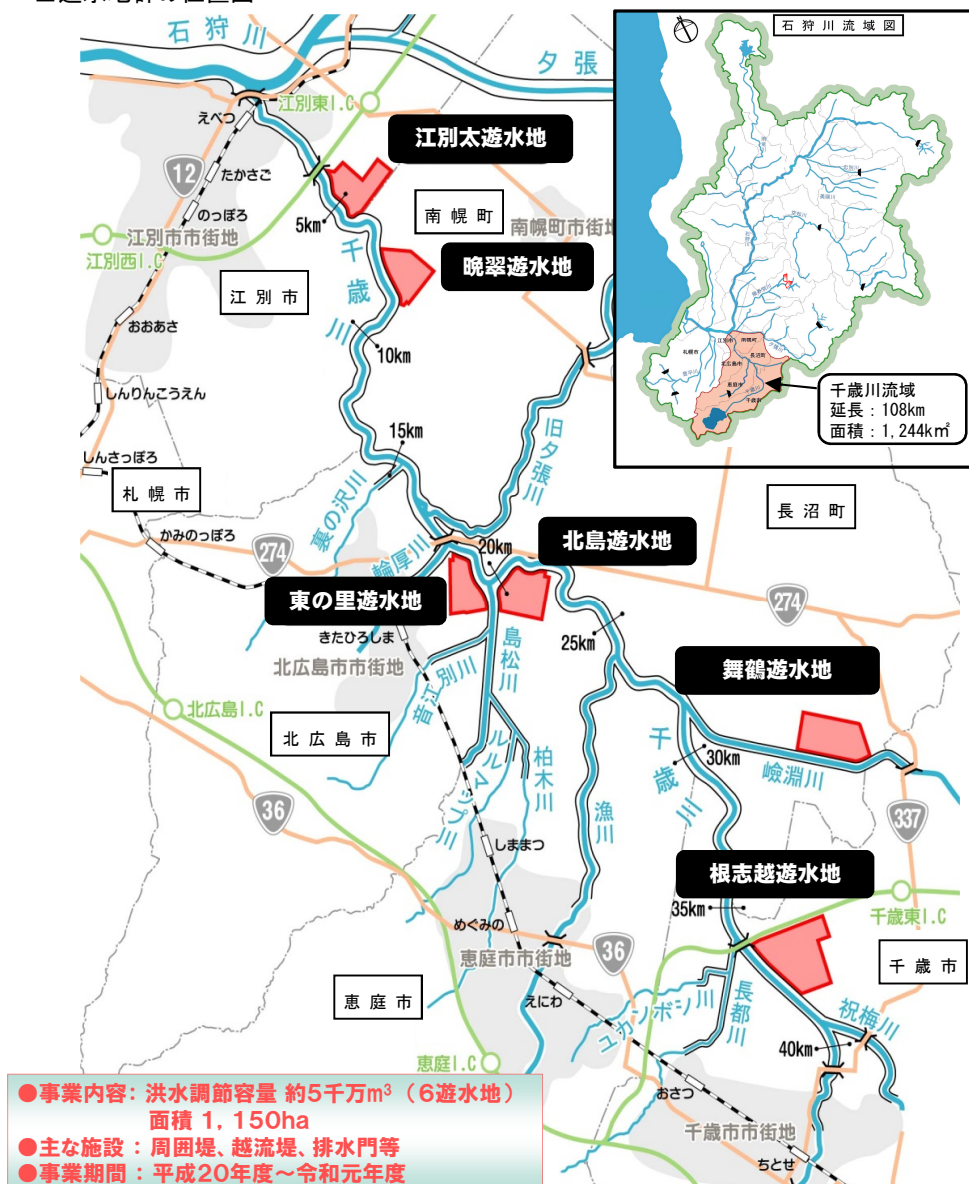


長沼市街浸水状況

千歳川遊水地群について

●6力所の遊水地を整備し、治水安全度を向上

■遊水地群の位置図



「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

